



浦田弘二町長、所信表明。

町政の骨子、明らかに。

新生福智町、施政方針。

「行財政改革、自立、自治体間競争、一体感の創出。以上、この4つのキーワードに沿って一年間のまちづくり、そして地域づくりを行ってまいります」。

福智町初の定例会が開かれた初日に、浦田弘二町長が明らかにした本年度の施政方針。本予算が決まったこの議会で、新生福智町の施策の骨格が見えてきました。本年度は新町の土台作り、礎を築くための貴重な年度として位置づけられています。

柱1. 行財政改革

住民参加型の行財政改革推進委員会を設置し、今後の行財政のあり方、そして具体的な方策・手段について、私の諮問に答申していただきます。第1に歳出の見直し、第2に自主財源の増加施策。

第3に行政機構の見直し。最後に公共施設の今後の経営管理のあり方について。大きくこの4点に絞って諮問し、答申の中身に沿って具体的に町政へ反映したいと考えています。

柱2. 自立

地方自治法でも策定が義務づけられているように、総合的かつ計画的な行政運営を図るため、福智町の長期的な総合計画（まちづくり計画）を策定します。総合計画は、当然旧3町でも策定されてきましたが、それが名実ともに効果を発揮した

かとなると必ずしも十分ではなかったと感じています。その反省のもとに、実のある確かな計画づくりを行います。策定の審議委員は住民に公募し、町で生活しているみなさんの「生の声」を町政の最上位計画の中に生かしたいと考えています。

柱3. 自治体間競争

これは福智町として今後生き延びていくための重要なキーワード。つまり、ここいかに重点を注いで、すべての力を結集し、町の振興・発展に向けての礎を築いていけるかが、我々にとって大事なことであろうと思います。他の市町村と同じようなことをやっているとでは生き残れません。自治体間競争に敗れないためには、他に抜きん出た、あるいは福智町に住みたいと思っていただげるような定住促進の施策を講じて行かなければなりません。そのためには教育、これを町づくりの中核に据えながらまちづくりを行いたいと思っております。これは将来、10年、20年先の礎を築くための、まさに福智町に魂を入れるための施策で

あります。義務制の小中学校にとどまらず、就学前の保育園ないしは0歳児からの対応も教育の範囲に入れ、もちろん高校以上の社会人も含めて、教育文化の町として他に誇れるような町にしたいと考えています。そして、自治体間競争におけるもう一つの大きな柱として、近隣はもとより、福岡、北九州、本州の関西、東京からも集客できるような観光の町、福智町」の土台を作り上げてまいります。福智町の観光をPRするための要素は、まだ掘り起こされていないものを含めて随分ございます。これらを生かしていきたいと思っております。



改革、自立、競争、一体感。

柱4. 一体感の創出

福智町が発足して3か月半が過ぎました。しかし、まだまだ福智町という住民の一体感ができているかと問われればそうではないと思っております。あらゆる施策を定着させていくためには、何よりも福智町の住民として、旧3町のみならずの気持ちを一つにしていだく、つまり一体感を創出するための環境作りを我々行政として、いち早く取り組まなければなりません。

来上りません。先日から町内58か所のタウンミーティングを開かせていただいておりますが、このような住民の方々の思いを把握できる機会をなるべく多く設けて行きたいと思っております。また、行政としては、住民の要請がなくても、積極的に我々が抱えている情報や地域の実態などを広報紙を通して提示したいと考えています。地域に向く、そして行政として抱えているものを積極的に開示する、そういういった作業を続けながら、福智町としてのイベントの開催も含めて、住民の方々の一体感を創出できたいと思っております。

以

上、大まかに4つのキーワードに基づいて私の町政推進の方向性を申し上げます。また、その他にも福智町には課題が山積しています。来年度から国の大きな方向転換がなされる農業の基盤作り、住民生活を支える福祉の充実、そして、福智町に欠けている雇用の場の創出など、これらにおいて最大限実現に向けて努力したいと思えます。それと、何より大切なことは、住民の方々の信頼を失ってしまうような行政であったり、ならないということです。特に公共事業は慎重に行い、住民の方々から不信感を抱かれることのないように、私を含めて職員一同、気を引き締めて取り組みたいと思います。

すべての施策を支え、効力を発揮させるのは、我々行政職員の力量にかかっています。とかく行政の職員に対するお褒めの言葉は少なく、指摘がほとんど毎日のように入ってきていますが、職員研修も併せて行い、資質向上に努めてまいりたいと考えています。

住民のみならずの期待に十分応えられるよう、今後、計画的に取り組みを進めてまいりますので、皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



礎を築く、施策の4支柱。